

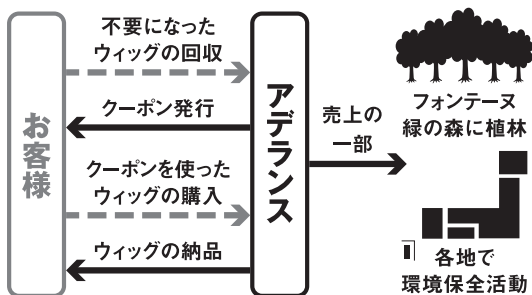
笑顔のために ～アデランスの社会に対する取り組み～

①産学連携

②スタジオAD

③フォンテーヌ緑の森の植林活動

④愛のチャリティ



広がる「三方よし」の好循環

アデランスは、使われなくなったウィッグを回収して環境保全活動へとつなぐ「フォンテーヌ緑の森キャンペーン」に2009年から取り組んできました。山梨県の山林で1200本以上の植林を行い、昨年からは北海道から沖縄までの全国7カ所に活動エリアを拡大。たくさんの人に笑顔届ける、「三方よし」のCSR活動です。

自分の体の一部として毎日のように着用するウィッグ。「使わなくなっても捨てるのが忍びなく、店に持ち込むお客様が多くいました。一方、ウィッグには様々な素材が使われているので、適切に処分しないと『負の遺産』になってしまいます。そうしないためにも、この取り組みを始めました」。女性用ウィッグブランド「フォンテーヌ」の営業企画部長、藤生善則さんはこう語る。

毎年6～8月のキャンペーン期間中、ウィッグを店舗に持ち込むとクーポン券と交換でき、次回購入時に割引を受けられる。そして、売上の一部が環境保全活動に役立てられる。

通常、夏場はウィッグの需要が落ちるが、キャンペーン開始以来、売上は連続して前年を更新している。「お客様と社会、そして我々のみんなが幸せになる好循環、『三方よし』の考え方です。客足が伸びて店舗が入る百貨店にも喜んでいただけるし、社員のやりがいにもつながります」

昨年は、東日本大震災の津波到達地点に桜を植えているNPO法人さくら並木ネットワークとともに、宮城県石巻市の大谷川地区に植樹をした。避難の目印になるよう高台に植えられた桜は今年、小さな花を咲かせた。「地元の人、『これからこの桜に癒やしてもらおうよ』という言葉が心に残っています」と藤生さん。これからもアデランスのウィッグが全国に笑顔を増やしていくだろう。



昨年から「緑と桜のエコロジカルプロジェクト」として、全国で活動



宮城県石巻市大谷川地区での植樹会の様子(昨年4月)



フォンテーヌ営業企画部長

藤生 善則 Yoshinori Fujiu

1973年生まれ。92年、アデランス入社。東京、愛知、長崎など全国の店舗勤務、フォンテーヌ東京営業部長、東関東営業部長などを経て2016年から現職。

